

平成19年度

陵水会名古屋支部総会開催!!

平成19年6月8日(金) 於 名古屋キャッスルプラザホテル



発行所
 陵水会名古屋支部
 〒451-0042
 名古屋市西区那古野
 一丁目17番18号
 「税理士法人 中央総研」内
 TEL 052-565-6600
 FAX 052-565-6656
 発行責任者 小島興一
 印刷所 中塾総合印刷
 ☎0569(21)2426(代)



福田経済学部長

恒例の平成19年度の陵水会名古屋支部総会が、6月8日(金)の夜、従来と会場を変え、名古屋キャッスルプラザホテルにおいて大変な盛り上がりの中、開催されました。残念ながら目標の200名参加には若干とどきませんでした。本年は彦根城の開城400年を記念して、彦根市の関係者をお呼びしたり、彦根に関係した催し物を開催し、ご来賓をはじめ参加の皆様のご

好評を得ることができたと思っております。午後6時30分定刻の開会宣言に始まり、小島支部長の挨拶、5名のご来賓の紹介―来賓を代表して、福田学部長から最近の滋賀大学の状況について報告いただきました。引き続き水野会計幹事から会計報告があり、原案通り承認されました。また岩田幹事長からは役員の改選は本年度はない旨報告があり、現役員の再任が承認されました。以上で総会は終了しましたが、司会者から、名古屋支部のホームページの運用紹介と、メーリングリストへの参加呼びかけがありました。

総会に引き続き午後7時から「日本歌曲で綴る 彦根・青春の思い出」と題して、歌と彦根の映像、又地元劇団による寸劇を楽しんでいただきました。

午後8時すぎからは、会場を



来賓席

移して別室で懇親会となりました。懇親会は定例により陵水名古屋男声合唱団にゲストも加わり、高商校歌から始まりました。続いて陵水会の堀川理事長のご挨拶、竹内彦根市秘書の話があり、西坂東京支部長の乾杯で参加者の懇談となりましたが、あつという間に

時間がたち、本科20回の浜本様の発声でお開きとなりました。本年は21回生の幹事となりますが、ますますの盛会を期待しております。

板谷憲治(大20)



監査法人 東海会計社

代表社員 公認会計士 小島興一 (大10回)

〒461-0005 名古屋市東区東桜2丁目4番1号
TEL(052)932-4500(代) FAX(052)932-4525

(注) H 19.10.1より両法人とも、名古屋市中区丸の内2丁目19番24号に移転し、電話番号が次の通り変わります。

●中央総研(052)232-7800(代) ●東海会計社(052)232-8400(代)

税理士法人 中央総研

代表社員 公認会計士 小島興一 (大10回)

社員 辻 瑛 (大10回)
税理士

〒451-0042 名古屋市西区那古野一丁目17番18号
TEL(052)565-6600(代) FAX(052)565-6624
(名古屋本部・名古屋東事務所・三重本部)

小島支部長あいさつ

本日は大変お忙しい中、名古屋陵水会総会にご出席賜り誠に有り難うございます。昨年も申し上げましたが、大学が独立行政法人になりまして3年目を迎えており、滋賀大学も財政上大変ご苦労をされております。



小島名古屋支部長

が、これを利用して常に情報をやりとりできるメーリングリストを立ち上げております。将来総会への出欠確認を含めて利用できますので皆様の積極的な参加をお待ちしております。

屋銀行頭取が担当されることになっております。次回以降皆様に依頼の節は、よろしく申し上げます。最後にお願いがあります。現在名古屋陵水ではホームページを開設しております

ております。次に陵水会本部では毎年OBの方に講義の依頼がきており、昨年は大5回の南野先輩が、又本年は8回の吉田元支部長と17回の築瀬名古屋



熱唱する盛かおるさん

今回総会の幹事を担当させていただき一番頭を悩ませたのが、

日本歌曲で綴る ～彦根青春の思い出～

会員の皆様にかに楽しんでいただくかということでした。幹事会では講演会に変え開城400年を迎えた彦根市をテーマにイベントを企画しようと決めました。幹事の中で地元の劇団やオペラ歌手と親しい鹿住君に仲介を依頼し、皆さんが4年間過ごされた「青春」の地彦根の今昔をテーマに歌曲と寸劇と映像で表現しようということになりました。実際に幹事が彦根に

内秘書課長の協力も得て、彦根市の今昔をご紹介できたと思います。又寸劇では、劇団「アルク」と弥富さんの努力のおかげで、諸先輩方にも充分古き良き青春時代を思い出していただけたかと思っております。総会が終り、他の支部長様からも「うちの支部でもやりたい」とおっしゃっていただいたことを申し添えさせていただきます。

取材中40年ぶりに入ったレストランのおばさんになつかしく話をしました。皆様も是非一度彦根をお尋ね下さい。

板谷憲治(大20)



滋賀大生を演ずる劇団「アルク」



ミズショー株式会社

本社：名古屋市昭和区白金1丁目4番20号 〒466-0058
TEL: (052) 872-6451 FAX: (052) 882-2915
事業所：刈谷市小垣江町大津崎1番13 〒448-0813
TEL: (0566) 25-1201 FAX: (0566) 25-1202
中国工場：深圳市宝安区觀瀾鎮桂花村廟溪工業区
TEL&FAX: 0755-27980377
URL: http://www.mizusho.co.jp/
社長 橋本 衛(大31回営) 総務部 課長代理 高橋和孝(大44回営)

岩田硝子株式会社

防犯ガラス・真空ガラス 取扱店

本社 〒452-0823 名古屋市西区あし原町275
TEL (052) 501-2371(代)
岩田政三 (大17回)



西坂東京支部長乾杯

輩との交流や様々なイベントでは私でも充分に楽しめる内容でした。女性の参加が少ない最大の理由はきっかけがないという点にあると思います。近年、女子学生が増え、女性の社会進出が旺盛な中、女性会員のみの集まりを提案し、そういった会を通じた活動の中でネットワークを密にすれば、陵水会活動への女性の参加も活発になるのではないのでしょうか？

今回初めてこのような会に参加させていただきましたが、部活の先輩方をはじめ、大学OBのみなさんと貴重な話ができたことを嬉しく思います。大学のスライドを通して、先輩方が懐かしんでおられた様子に、私もつい最近まで大学生であったことや、卒業式のことを思い出していました。今回このような機会を通して、改めて大学時代の仲間の大切さを感じると共に、これからも繋がりをもつようにしていきたいと思いました。

総会スナツプ写真

陵水会名古屋支部



堀理事長挨拶

先日、平成19年名古屋陵水会へ参加致しました。母校を卒業してから早や10年が経ちました。が陵水会への参加は今回で2回目となります。参加のきっかけはいずれも勤務先の先輩に誘われたことです。総会や懇親会では母校の現状を知り、先輩・後



小田千恵子(大46)



恒例の司会 金澤さん



稲田和子(大55)

新入会員の富田です。先日は参加させていただきまして、ありがとうございます。私は、名古屋の経済の発展に寄与したいと思い、名古屋銀行への就職を決めました。本行には築瀬頭取を始め数多くの先輩方がいらっしゃいます。この総会に参加し、名古屋にはこれほど多くの滋賀大OBがいらっしゃった事に驚きました。大変心強く思います。総会にはできるだけ参加したいですし、同期も連れてきたいと思っております。どうぞよろしく願ひ申し上げます。



富田真之介(大55)



来年度 幹事の皆さん

大野眞一税理士事務所 (有)大野会計計算センター

税理士 大野眞一 (大10回)

事務所 〒452-0822 名古屋市西区中小田井3丁目223番地 (052) 504-3511
自宅 〒481-0001 愛知県西春日井郡師勝町大字六ツ師字町田160-3 (0568) 21-0099

JANバーコード



4 932160 000308

システムで提案...入出庫・商品管理・トレイサビリティ
バーコードプリンター、スキャナー、ラベル、ステッカー印刷



会長
吉田正克 (大8)

QR二次元
バーコード



本社 〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞3-21-15
TEL 052-745-1530 FAX 052-745-1830
東京 〒110-0016 東京都台東区台東2-29-12 サンケイホワイトビル7階
TEL 03-5688-0438 FAX 03-5688-0430
大阪 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-20-15 長堀佐野ビル2F(207A号室)
TEL 06-6531-8475 FAX 06-6531-0153
E-Mail info@sanwa1926.com URL http://www.sanwa1926.com

陵水会名古屋支部・本部役員

役員名	氏名	卒業年次
顧問	岡田 一	(大学3回)
理事(副理事長)	小島 興一	(大学10回)
〃	吉田 宜正	(大学8回)
評議員	南野 輝久	(大学5回)
〃	伊與 正道	(大学6回)
〃	吉田 正克	(大学8回)
〃	大野 眞一	(大学10回)
〃	長谷川信三	(短大7回)
〃	水野 浩	(大学12回)
〃	倉坪 和久	(大学13回)
〃	吉田 稔	(大学15回)
〃	岩田 政三	(大学17回)
〃	築瀬悠紀夫	(大学17回)
〃	今井田昭三	(大学22回)
〃	久田 寿一	(大学30回)

陵水会名古屋支部・支部役員

役職名	氏名	卒業年次
顧問	井澤 慶一	(本科21回)
〃	岡田 一	(大学3回)
〃	吉田 宜正	(大学8回)
支部長	小島 興一	(大学10回)
副支部長	倉坪 和久	(大学13回)
幹事長	岩田 政三	(大学17回)
副幹事長	吉田 稔	(大学15回)
〃	村瀬 英己	(大学15回)
〃	松林 茂晴	(大学19回)
〃	今井田昭三	(大学22回)
〃	久田 寿一	(大学30回)
〃	横井 隆幸	(大学33回)
〃	金澤 清美	(大学43回)
会計幹事	水野 浩	(大学12回)
監事	大野 眞一	(大学10回)

平成十九年度役員改選

総会を終えて



板谷 憲治

19回生の皆さんが18年度総会を参加200名余という盛会のうちを終えられたあとを受け、私達20回生も半年前には幹事団を結成し、総会に取り組みました。今年の特長として、会場を変更したこと、又催し物を講演会から彦根城開城400年ということ、寸劇を中心に皆さんに楽しんでいただく企画を立てました。

来年に期す



山内 薫

大21回幹事代表の山内薫です。次年度は、21回幹事が中心になって企画し、実りある総会として和気藹々とした懇親会を目指して、取り組んで参りますので、どうか会員の皆様、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、陵水名古屋支部の益々の発展と会員皆様方のご健康を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

本年度会幹事

ご苦労様でした

年次幹事

菅 服 鹿 富 伊 山 多 小
沼 部 住 田 藤 口 田 林
幸 寿 敏 惠 憲 耕
治 恵 誠 夫 隆 一 士

来年度幹事

第21回卒の皆様

年次幹事

山 和 村 森 西 玉 杉 志 佐 上 岩
内 田 山 本 松 田 谷 治 木 中 田
薫 澄 明 良 眞 哲 広 章 健 寿
男 司 夫 優 人 夫 和 夫 人 雄

捨てられている物に命を!! 循環型社会に向けてあくなき挑戦



ウレタンチップモールド製造業

第一物産株式会社

取締役会長 横井典子
取締役社長 村瀬英己 (大15回)

本社 〒485-0827 愛知県小牧市文津684
TEL:(0568)76-3207 FAX:(0568)76-6168

奥谷弘和税理士事務所

税理士 奥谷弘和 (大14回)

〒447-0869
事務所 碧南市山神町7-2
電話 (0566)41-1155

陵水会名古屋支部 収支報告書

自 平成18年3月1日
至 平成19年2月28日

支部会費：2,000円×324名

本部会費：3,000円×298名

(代理集金)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,572,880	平成18年度総会費用	2,267,203
平成18年度総会会費	1,715,000	「名古屋陵水」発行費	636,211
平成18年度支部会費	648,000	会議費	212,582
本部より補助金	123,000	交際費	10,000
広告収入	240,000	事務費	47,250
雑収入	80,505	雑費	32,860
		次年度繰越金	1,173,279
	4,379,385		4,379,385

(単位:円)

平成18年度陵水会名古屋支部会費納入者一覧表

卒回	氏名	卒回	氏名
本 7	吉田正巳	17	浅沼和彦、南寿英二、岩田政三、伊藤信行、石井卓、川茂進一、築瀬悠紀雄、阿多博之、柘植和夫、堀田郁雄
14	杉山一雄	18	加藤久典、西尾達彦、鈴木幹男、川上良彦、水野義久
15	土屋武夫、杉山茂	19	松林茂晴、春木隆助、外山哲男、山口郁夫、杵名隆夫、加藤満、鈴木修、安田隆信、岡田敏光、前沢利彦
17	伊藤文吉	20	伊藤恵治、冨田敏夫、岩瀬昭一、板谷憲治、天野雅裕、山口隆、鹿住誠、菅沼幸雄、多田憲一
19	杉戸正彌	21	山内薫、村山明司、上中健人、杉谷哲夫
20	水野稔、榊原明	22	松下和久、志知明善、今井田昭三、川地正章、野寺賢二、大脇正照、脇田秀昭、塩瀬和美
21	荒島保、杉浦弘、井澤慶一	23	太田孝夫、大山能孝、高山穰、若松辰弘、稲垣信也、山内佳紀、三輪直樹、牧真喜子、小田切純子、冨田修、山本守
22	大藪守康、瀬尾且二、垣本武郎、所鉦一、服部明夫、浅野恒彦	24	野瀬廣司、近藤(神谷)一菜、吉田誠、吉田貴美子、木下光之、大本哲男、牛田好紀
23	七家亘康、鈴木貴晴、馬路芳郎、大橋芳夫、石橋克己	25	片岡嘉幸、伊奈伸夫、加藤太伸、野々山徳雄、渡辺暢彦、尾坂弘吉
24	夏原昭、林哲郎	26	山内喜栄、諸岡嘉博
東 1	森田三郎	27	一柳良直
3	伊藤義弘	28	木村秀樹、森房江、牧徳雄、牧野博和
工 1	山口孝夫	29	田中弘司、水野潔、兼松賢、岩原明彦、知野広明
別 1	下郷三五郎	30	久田寿一、岸泰志、原一宏
大 1	矢野浩一郎、岡島晃豊、那須希好	31	橋本衛、堀洋一、川瀬敏裕、山田康博、内田誠、舟橋範
2	加藤昌彦、堀田一幸、河合万之助、鹿野磯夫、勝忠男、木村善雄、伊藤良蔵、山口修	32	倉田弘継、小栗悟、船坂宏樹、武藤享
3	井篋英之、水野敏郎、横関不二男、吉田全広、岡田一、石川茂行、田中繁次	33	横井隆幸、城所真男
4	河野洋久、石井正樹、鈴木俊彦、中嶋宗嗣、内藤和秀、近藤勇雄、榊原惣一、祖父江清治、松井三郎	34	河合伸幸、千喜良博、重松正彦
5	森照明、清水有、森田収、白井靖二、高橋亮三、南野輝久、村橋敏博、山本勲、近藤実、中村錠司	35	堀尾熟生、志賀康仁、兵藤直裕
6	加藤功、岩田修司、豊田一利、七里年昌、山田寿男、牧野良三、石橋政雄、伊與正道、杵名敏郎、久保昭	36	三沢幸一、吉村公成
7	松田俊一、清俊三、松島利一、神谷慎太郎、川瀬泰、橋本英一郎、坂清司、長谷川富三、河村実鍔、大橋進	37	日比野厚、渡辺忠守、後藤敏夫、伊藤智弘
8	宮川益雄、久野勝利、吉田正克、鍋野可幸、清水明、中島孝宣、伊藤英夫、木村秀夫、木村芳夫、布藤久夫、三浦巧竝、吉田宜正、寄田昌二、脇田佳男、池田保男、近藤敬三	39	岩田邦宏、井戸川之則
9	清水吉男、坂東史雄、堀満、大西敏隆、清水一治、杉田嘉暲、加藤伸、杉山繁城、榊原寛、西村泰徳	40	脇田英市、後藤正樹
10	上原信彦、小島興一、鈴木清司、間瀬俊彦、川瀬幹夫、堀田隆久、辻瑛、浅田為正、桑原誠、大野真一、鷺見公嗣、水野健治、山本勉	43	金沢清美、鈴木康生、小林靖、野田保徳
11	赤坂郁昌、加藤宣彦、浅野如糧(幹郎)、築山宏一、山村大二郎、小林雅正、内藤嘉美、鶴森昭雄	44	松田耕平
12	伊藤靖久、山田正治、国立徹、古田公三、鬼頭時夫、水野浩、坂井昌治、田中慶一郎、木村哲也、榊原昌夫	45	高野雅子
13	後藤一而、大橋輝彦、佐橋孝、嶋津導彦、大竹雅司、倉坪和久、吉田武久、磯貝嘉男、角井正澄、鈴木慎吾、兵藤雅徳、山田建造、加藤嘉隆、吉野祐次郎、川村憲一、丹下義友、福田勇夫	46	加藤晃、鈴木理映子
14	石倉雅夫、望月弘隆、石原秀夫、市川弘幸、青山一道、伊藤仁隆、岡村明光、早川匡彦、古橋功朗、藤原寛治、牧野安宏、森崎敏男、松木浩	47	岸岡伸岳
15	伊藤英雄、吉田稔、松坂光八郎、村瀬英巳、長坂重信、水野和夫、山村慎太郎、森下昭造、杉山皓造	48	山口貴裕
16	蜂須賀聡太、竹島毅、辻本勲、立松達朗、桑山邦彦	49	森基樹、小鷲薫、白井達也
		50	畔柳雄一、江崎活弘、加藤大貴
		51	中嶋智士
		53	大前友紀
		54	登内真平、藤浪毅、石原芳洋
		短 2	斎藤武司
		3	岩田一也
		4	寺倉幸夫
		7	長谷川信三

餅・赤飯・生菓子の日配メーカー

和泉食品株式会社

代表取締役社長 杵名敏郎(大6回)

〒444-1221 愛知県安城市和泉町神明20番地
TEL 0566-92-1473(代) FAX 0566-92-4674

会計・監査・税務・コンサルティング

山内佳紀事務所

公認会計士・税理士 山内佳紀(大23回答)

〒466-0807 名古屋市中区山花町94-4
TEL 052-761-1386 FAX 052-761-1869
E-mail:yoshi@mthouse.com

彦根だより



プロフィール
平成16年から平成18年まで国立大学の行政法人化に伴ない陵水会代表として、滋賀大学理事として経営に参画された。

「彦根での出会い」吉野祐次郎(天13)

母校の理事として平成16年から2年間、産業共同研究センターの野本教授と地域連携センターの山崎教授と一緒に仕事した。野本教授とは、技術経営

(MOT)を核に中小企業の活性化を図るため、滋賀県立大学と長浜バイオ大学と「湖北3大学円形を結び、共同で国家予算を獲得し、MOTのマニュアル作りから、普及活動のための講演会、研修会を開催し、現在では県内企業の若手経営者の教育に実績を上げております。山崎教授とは、彦根、大津などの行政機関や商工会議所、銀行と包括協定を結び、街おこし、公開講座や各種フォーラムの現地での開講、自治体の各種委員会への教員の派遣などで地域貢献を図っています。又、山崎教授が中心となって発足したNPO彦根景観フォーラムを中心に学生の協力を得て彦根の街づくりに取り組んでいます。具体的には私たちの学生時代には袋町と呼

んでいたところ、現「花しよぶ通り」の中ほどにある「寺子屋力石」を改装して街の駅をオープンさせ、その中に滋賀大学街中研究所を立ち上げた。発足時から経済学部の院生が活躍してくれている「現代版寺子屋」や彦根物語の会場として今では寺子屋商人塾などが開かれ、ますます発展しているのは喜ばしい限りです。彦根へ行かれる機会がありましたら是非足を伸ばしてください。

もう一つの出会いは、彦根景観フォーラムの理事会で陵水会館によく来ておられた湖東焼の中川一志郎先生です。先生は「湖東焼を育てる会」を主催しておられ、私は先生の陶房で2年間作陶を指導して頂きましたが、

そのときに先生のお人柄に触れ、又、会の趣旨に賛同して入会させてもらいました。支部のホームページに湖東焼の紹介をさせて頂きましたが、昨年末芹川の河口近くの晒山に「晒屋窯」を築きました。私もメンバーの一人として耐火煉瓦の調達を担当しました。理事を退任してからも、この会のお蔭で彦根に行く機会も多いので今後も、ホームページに「彦根だより」として皆さんに情報提供をしたいと思えます。



寺子屋「力石」

ホームページ活動報告

この1年間、名古屋支部会員の交流を目的に立ち上げ、運営してきました。



- (1) 機関紙「名古屋陵水」のバックナンバー機能からスタート。(No.23〜26閲覧可能)
- (2) 彦根・大学に関係するトピックスや近況情報の掲載。吉野祐次郎(大13)さんの「彦根だより」をスタート。
- (3) メーリングリストの開設。より迅速にメールによる交

流。会員募集中!
(7/10現在120名参加)
URが覚えやすいだけでなく、Yahoo、Google等で検索するとすぐに見つかります。キーワードは「陵水会名古屋支部」「名古屋陵水」です。

横井隆幸(大33)



集客企画・販促品・グッズのことなら
“あいん”におまかせください!

株式会社 あいんシステムズ

〒487-0025 愛知県春日井市出川町2丁目26番地1
TEL 0568-52-0004 (代) FAX 0568-51-9874
E-mail morino@ain-s.co.jp
URL <http://www.ain-s.co.jp> (あいんシステムズで検索できます)

代表取締役 森野行雄 (大15回生)
お電話・ファックス・E-mailお待ちしております。

総合呉服卸

三陽株式会社

代表取締役 今井田 昭三 (大22回)

〒460-0003
名古屋市中区錦二丁目5番31号 長者町相互ビル1F
TEL 052-211-5821 FAX 052-211-5822

陵水俳壇

石橋政雄(大六)

かやぶきの里駆け巡る初燕

先日京都府南丹市美山町の「かやぶきの里北村」に遊んだ。

伊與正道(大六)

片減りの朴歯の下駄や祭笛

朴歯の下駄を鳴らして彦根の街を歩いて居たのも遠い昔。

河村実鏤(大六)

緑さす慈顔輝く観世音

北近江の渡岸寺へ。国宝十一面観音さまに逢いに行った。

木村芳夫(大八)

黒揚羽舞ひ出で長き雨上がる

旅先の雨は嫌なものだが、雨が止み舞う蝶の姿に心が和む。

久保 昭(大六)

薫風の町屋に流る山車囃子

伝統の有松絞りを業とする旧家が並ぶ街道の夏祭風景。

自句自解

倉坪和久(大十三)

眠る山起きよと飛驒の神楽かな

雪国飛驒出身の自分にとって春祭こそ何より待ち遠しい。

斉藤武司(短二)

蒼天に鳴き声のこる落雲雀

雲ひとつなき青空から雲雀が降りて来たが声は宙に残った。

柴 宗平(大五)

万緑や忘れられたる墓ひとつ

林の中に潰れそうな墓があった。墓もいずれ土に還るのか。

南野輝久(大五)

梅雨晴間布団干す手に犬絡み

我が家のボーダー・コリーは散歩をせがみ絡みついて来る。



トピックス

古希の大学院生

名古屋立大学に入学



大学10回卒の桑原誠さんは、

伊能忠敬の「一生に於て二生を経る」と言う生き方に感

動し、これこそ会社退職後の我が生き方と決め、大学院を志す動機となりました。

桑原誠さんは名鉄運輸に42年間在職され、その間、取締役を

10年間勤めながら、名鉄流通(株)の社長も15年間就任されていま

した。今日の安定経営の基礎を創られました。その実学を大学

院でさらに研究に生かしたいと

考え、滋賀大学時代、大阪船場勤務時代に縁があった「近江商人」の先進性などを実証的に検

証し、彼らが、経営の特性をどう展開したか現代的意義を明らかにしていきたいとのこと。

この春の名市大大学院の入学に、若い学生に混じって試験を受け、社会人から日本経済経営

専攻博士前期課程に入学されました。

入学後、現住所の春日井市から週4日まで通学するハードさですが、若い学生に囲まれて、

気持は若返ったと楽しそうでした。学生生活は、出校する4日間講義を聞き、課題図書を読み、

さらに毎週のレポート提出とかなかなか厳しいもの。この学生生活は予想しなかった。

私たちも近江の地にある滋賀大学出身者として、「近江商人」に大いに関心を持っています。なかなかその精神を学びきれ

ません。桑原さんに研究テーマの一端を語っていただきました。

近江商人は、江戸時代に地場の産物(八幡川蚊帳・畳表、日野川売薬・醸造酒、彦根川仏壇)

をもって全国へ行商した。経営形態も個人から協同企業体へ発展、さらに経理帳票も複式簿記

へと、合理的な経営方式に変化していった。もっとも知られて

いる近江商人の理念として「利は余沢、三方よし」という商売哲学を確立させ、初代伊藤忠創業者は、「商売は菩薩の業」と説

いたと言われ、現代でも充分通用する理念である。と熱い思いが伝わってきました。

(文責・吉田稔・大15)

企業経営をトータルサポート

税務会計(法人・所得・消費・相続・贈与)
法人設立・建設業許可等

山内会計事務所

税理士 山内 薫 (大21回営)
行政書士

〒491-0045 一宮市音羽3丁目4番11号
TEL 0586-24-1407 FAX 0586-24-1472

七里社会保険労務士事務所
愛知中央SR経営労務センター理事

社会保険労務士 七里年昌 (大6回)

〒496-0029 津島市下切町字高橋113
TEL 0567(25)1567 FAX 0567(25)6502

名 陵 詩 想

田中慶一郎 (大12)

綿毛のたんぽぽ

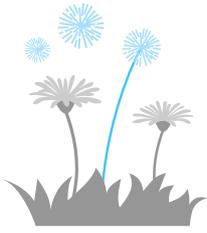
朝、自転車のペダルを繰る私の目にとびこんだ幻想的に広がる白い群落。
 それは、おもいきり遠くへ飛ばうと背筋をぐつと伸ばした綿毛のたんぽぽたちだった。
 よく見ると、日ごとに成長する道端の草花のなかでも首一つ超えていた。
 若い黄色たんぽぽと比べても一段とぬきんでている。

日をおいて、わが家の北庭のすこし遅咲きのたんぽぽで調べてみた。
 四月十四日、たんぽぽは黄色い花が咲きそろい、背だけは七センチから十センチ。
 四日経って十八日、いやあ、たんぽぽの背だけは十七センチから十九センチにも。綿毛が一つ咲いていた。

さらに四日経って二十二日、綿毛は満開だ。背だけはさらに伸びて、三十センチをこえ三十五センチ！

たんぽぽは荒地地をもともせず、黄色く力づよく咲き乱れる。しかし、それで終わりにしないのだ。

もう一度、白い綿毛を咲かせ、しかも、風に吹かれ遠くまで飛べるように、二倍にも三倍にもさらに背を伸ばすのだ。次の世代のため、次の時代に向けて。



コメント

六十年余歩んだ自らの歴史を広くやわらかく振り返り、限られた残りの時間をより自分の体力知力にふさわしく、今の世界と日本に通じるように生きたいとの思いに駆られたからである。還暦とは唇が戻り、再び一から始まるという人間の知恵なのだ。

『陵水亭繁盛記』

亭主 今井田昭三(大22)

陵水亭の開亭は、平成9年(一九九七年)です。当時の岡田支部長(大3)の提案で始まりました。とにかく『気楽に集まってお値打ちに交流できるサロンを』ということ、その後、毎月1回の「交友サロン」を開催し続けて、倉坪前幹事長の頑張りで毎月第3金曜日開催が定着しました。

なんと本年は、開催10年！新亭主の今井田さん(大22)は「たとえ一人つきりでも、必ず待っています。」と、益々繁盛に期待をかけています。



〈時間〉 原則として毎月第3金曜日 午後6時30分

〈場所〉 錦「アネックスビル」10階 「唐観月」

〈会費〉 5,000円

〈日程〉 8月17日(金)、9月21日(金)

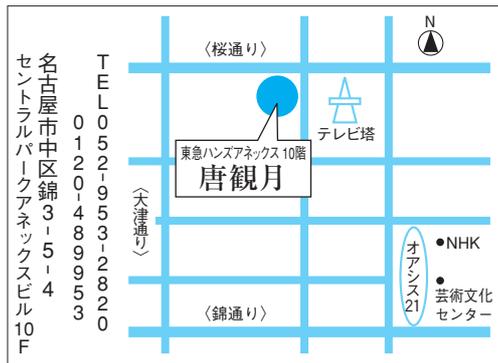
H19 10月19日(金)、11月16日(金)

12月 休み

H20 1月18日(金)、2月15日(金)

3月21日(金)、4月18日(金)

5月16日(金)、6月20日(金)



【編集後記】

〔原稿募集及びご意見を！〕

皆様の原稿をお待ちしています。

※テーマ自由

編集担当 吉田 稔 (大15)

FAX 052-751-2010

E-mail m-yoshida52@yahoo.co.jp

税と経営の総合コンサルタント 山田康博税理士事務所

税理士 山田 康 博 (大31回)

〒452-0942 愛知県清須市清洲田中町29番地 TEL 052-409-0836 FAX 052-409-1904

取扱品目：切削油、潤滑油、防錆油、肥料、農業、園芸資材、健康サプリメント 地盤調査、柱状改良工事、外壁工事

お客様と共に繁栄目指して120余年 志賀為株式会社

志賀 康 仁 (大35回)

JR岡崎駅前 TEL 0564-51-3685